
コチコチ観覧車

焼肴空太

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

コチコチ観覧車

【Nコード】

N2451L

【作者名】

焼肴空太

【あらすじ】

観覧車。うつむき見つめあう若い男女。少女の子どもっぽい『お願い』がゴンドラを空へと浮かべるのだが……

コチコチ……コチコチ……

ワタシったらすっかり緊張してしまつて。ああ、いけませんわ。憧れの清一郎さんがすぐそばにいるせいですね。それにもうじき二人つきりになれるのですもの。

コチコチ……コチコチ……

乗車券を渡すと、チケット・ガールが半分をパチリと切つて、ワタシと清一郎さんを観覧車のゴンドラに案内してくださいました。ドアが閉まります。ゴンドラはゆっくり上がっていきます。

コチコチ……コチコチ……

ああ、もう、緊張してしまつて。一言も喋ることはできません、膝の上に重ねた自分の両手をじつと見つめ、ときどき清一郎さんのお顔をチラリと見るだけ。清一郎さんも照れて、頬を赤くして黙つていて、ときおり窓の外を指差して、ガラス越しに見える海岸や町の建物について「やあ、高いですね」「ここから見るとおもちゃみたいですね」とおっしゃるだけ。

コチコチ……コチコチ……

でも、それだけでも幸せなのです。ワタシと清一郎さんが二人つきり。この時間が永遠に続けばいいのに。ところが観覧車はもうじき最高の高さに達しようとしているではありませんか。もし、そこを越えたら、ゴンドラはそのまま下がっていきます。そして一番下の、地面の高さに達してしまつたら、それで二人つきりの時間はお

しまいです。ああ、神さま。このゴンドラが新たな観覧車につながって、また上昇してゆけばいいのに！

コチコチ……コチコチ……

するとどうでしょう！ ゴンドラはそのままかすかに横に滑ったかと思うと、滑らかに弧を描きながらまた上昇していくではありませんか。ワタシたちの乗ったゴンドラは宙に浮かぶ見えない観覧車につながって、また上昇を始めたのです。ああ、神さまはほんとうにいるのでしょうか。初心なワタシの子どもっばい願いをかなえてくださいました。きつと日ごろの信心のおかげですね。

コチコチ……コチコチ……

あらあら、ゴンドラはもうてっぺんに辿り着こうとしています。ゴンドラはてっぺんから下降線を描いて、遊園地へ降りていってしまっしょう。夢みたいな二人っきりの時間はもう終わってしまうのかしら。神さま、お願いです。ゴンドラをもっと高いところへ飛ばしてください。

コチコチ……コチコチ……

神さまはワタシの願いをまた叶えてくださいました。ゴンドラが新たな透明観覧車の最下点にくっつきました。またゆっくり弧を描いて、上昇していきます。でも、ワタシも清一郎さんも黙ったまま。そうこうするうちにゴンドラはてっぺんに……

コチコチ……コチコチ……コチコチ……コチコチ……

……コチコチ……コチコチ……コチコチ……コチコチ……

……コチコチ……コチコチ……コチコチ……コチコチ……

…コチコチ…コチコチ…コチコチ…コチコチ…
…コチコチ…コチコチ…コチコチ…コチコチ…
…コチコチ…コチコチ…コチコチ…

……同じようなことがもう何十ぺん、何百ぺんと繰り返されました。ワタシも清一郎さんも恥ずかしがってなにも言えず、うつむいているばかり。ゴンドラは蛇行するように上昇し続け、町は空の青さのなかに溶けてしまっって見えなくなってしまいました。でも、ゴンドラはずっと上昇し続けてくれるものかしら。いつかは下降してしまうのではないかしら。それで、遊園地に着地してしまっって、二人っきりの時間は終わっってしまうのかしら。そんなの、いやですわ、いやですわ。

コチコチ…コチコチ…

すると、ある考えがワタシの心をツイッとよぎります。このコチコチというのは緊張したワタシのうちから発せられる心象表現の一種だと思っっていたのですけど、ひよっすると、実際はワタシがいま、お尻をのせている座席の下に仕掛けられた時限爆弾が時を刻む音なのかもしれません。それがいまに「コチコチ…コチコチ…コチン。リーンツ」と鳴っって、大爆発してしまっうかもしれなない。

コチコチ…コチコチ…

ああ、なんて素敵なのでしょう！それで二人の時間が永遠になるのですもの。そうすれば、ゴンドラがいつ地面へ降り始めるのだろうと気をもむこともなくなりませす。素敵、素敵。子どもっばい空想だと思っいになるかしら？でも、神さまはすでにワタシの子どもっばい願っいを聞き入れてくださいました。この願っいもきっくと聞っいてくれますわ。ああ、神さま、これを最後のお願っいにいたし

ます。どうか、時限爆弾を爆……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2451/>

コチコチ観覧車

2011年1月28日04時52分発行